

都市づくりフォーラム 第19回

都市づくりトピックス

<都市の小さなダム～雨水浸透ます>

大雨が降ると河川が一気に増水し、あふれる。そんな都市型水害が増えています。これは、宅地化が進んだり、地面がアスファルトで覆われたりしたため、雨水が地中にしみこむことなく直接川に流れることによって起こります。

都市型水害対策に効果が期待できるのが、雨水浸透ますです。まずはバケツのような形で、雨水を浸透しやすくするために穴がたくさんあいています。雨どいから流れ込む雨水を貯めて、徐々に地下に浸透させる仕組みです。ますの設置によって地表に流れる雨水の量を減らすことができるので、水害を抑えることができます。まさに、都市の中の小さな治水ダムの役割を担っています。

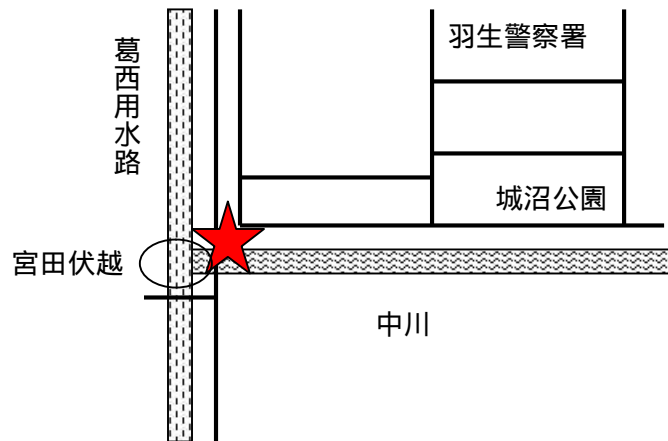
また、水害対策だけでなく、地盤沈下の抑制、地下水や湧水の回復などにも効果が期待できます。降った雨は土にしみ込むという本来の水循環をとりもどすことになります。

市も小さなダムの大きな効果に注目し、雨水浸透ます設置費用の補助制度を設けています。多くの家庭にますが設置されることを望んでいます。

羽生のいいところミーケ

<源流にたたずむ～中川>

中川は、羽生市に源を発し、元荒川や綾瀬川などと合流し東京湾に流れ込む延長約81kmの一級河川です。江戸時代初期までは利根川や荒川の本流でしたが、利根川東遷などの事業によって現在の姿になりました。地図の星印のところに中川起点の標識があります。中川の水源は宮田落とし排水路で、葛西用水路をくぐって流れ込んでいます。この部分は宮田伏越と呼ばれ、葛西用水路が開削された1660年に設けられたそうです。現在はコンクリートで改修されてしまいましたが、それまでは煉瓦造りで、近代化遺産のひとつでした。川と人が織りなす歴史は「水の都」羽生の財産です。水に流すことなく語り継いでいきたいものです。



市民フォーラム

<公園被害の実態>

公園施設の破壊が後を絶ちません。昨年度は20件以上の被害がありました。現場の惨状を見るたびに、強い憤りと悲しみがこみ上げてきます。破壊箇所の修理には約150万円を費やしました。壊されなければ使わなくてすんだお金です。羽生市にとって大きな損失です。150万円あれば、桜の苗木を200本買うことができます。

市では、警察に被害届を提出したり、看板を設置したりして再発防止に努めています。皆さんも破壊現場を見かけたときは、警察や市にご連絡ください。皆さんのご協力をお願いいたします。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は

都市計画課（内線275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp